

令和6年度 第4回豊南地域会議 会議録

■日 時 令和6年8月22日（木）午後6時30分～午後7時45分

■会 場 豊南交流館 1階 大会議室

■出席者 <委 員> 宇野 純一 宇野 昇 浦 裕美 大富 晃
川上 正弘 桑山 正己 小林 俊一 小林 輝弥
相馬 照雄 高橋 恵利加 辻川 厚良 富田 雅司
中島 浩 松本 和市
※欠席者 伊勢 宣孝 小玉 知子
<事務局> 杉浦 智文（地域支援課 課長）
大平 直樹（地域支援課 担当長）
杉浦 由里江（地域支援課 主事）

■次 第

開 会

- 1 豊田市民の誓い唱和
- 2 会長あいさつ
- 3 豊南地域の課題について（グループワーク）
- 4 連絡事項
・共助交通シンポジウムについて（情報提供）

閉 会

■議 事（要約）

3 グループワーク（テーマ：自分の住む地域の目指すべき姿について）

各グループからでた意見は以下のとおり

【Aグループ】前山・山之手・丸山

- ・高齢化による空き家対策が必要（防犯上も良くない）
- ・車がなくても高齢者が安心して自分で動けるまち
- ・世代間の交流が気軽にできるまち、昔の遊びの伝承
⇒高齢者クラブとこども園の協力が得られる仕組み
- ・高齢者と若者世代とが交わって集えて楽しめる地域活動を行う。
- ・常日頃から気軽に声かけが出来るまち、助け合えるまち
⇒高齢者クラブのような若者グループを作る（高齢者グループと交流する機会を設ける）
- ・若い世代と年寄り世代の交流が活発なまち
- ・世代間のつながりが強いまち
- ・ちびっこ広場等のこどもの遊び場が整備されている

- ・時間のある高齢者がこどもの面倒を見る
- ⇒ある時間、ある場所に行くと、大人がこどもの面倒を見てくれる仕組みづくり
- ・近隣のつながりが強いまち、災害時に助け合えるまち

【Bグループ】下野見・渡合・今

- ・災害時に高齢者を助け合えるまち
 - ・地域活動に若手が参入する、若手が活動しやすい環境
- ⇒地域活動の目的を明確にする
- ・道路が狭く高齢者やこどもが外で活動しにくいので交通インフラが整ったまち
 - ・車以外の移動手段がいくつもあり、高齢者の移動がしやすいまち
- ⇒水源東地域タクシーの自由化、カーシェアの拡大
- ・こども、地域活動について、子どもたちが動くようなボランティアの活性化
 - ・高齢者とこどものお互いが交流して助けあえるまち
- ⇒お祭り等の地域イベントの充実、交流できるツールを増やす
- ⇒地域の中でボランティア枠を拡大する
- ⇒高齢者とこどもが交流するためにタブレット等のツールを配布

【Cグループ】水源町・平和町・平山

- ・地域活動に現役の人が参加できるようにする
 - ・お互いが助けあうまちづくり
 - ・高齢者が外へ出やすいまちづくり（移動手段の選択、こどもとの交流）
- ⇒コミュニティカーシェアリングの導入、横展開（住民の協力・行政の協力）
- ・こども～高齢者全員がいろいろな場面で手を合わせる
 - ・災害時に助け合える、困ったときに寄り添えるまち
 - ・日常からのコミュニケーションを取り合える関係づくり
 - ・安心してこどもが遊びに行けるまちづくり（交通面）
- ⇒NPO法人の設立
- ・小さなこどもを見てもらえるような柔軟性の高い施設があるまち
 - ・誰もが時間、場所を決められることなく自由に移動できる交通手段
 - ・歩行者、自転車、車両が分離され安全が確保されている
- ⇒行政の支援による道路・交通づくり

4 連絡事項

- ・9月26日（木）に開催される共助交通シンポジウムについて情報提供

<次回開催日>

令和6年9月19日（木）午後6時30分から 豊南交流館